

環境経済部長の仕事宣言！ 進行管理表

環境経済部長 立石 利治

[リープロ名称] 活力とにぎわいのあるまちプロジェクト
 [目標値] 給食における地元産品率の向上 54.5%、認定農業者数 68 経営体、家族経営協定割合の向上 35%
 (リープロの概要) 地元農産物の地産地消や大規模消費地(福岡市)の拡大などを図ります。また、鳥栖市の経済活力を高めるため新たな企業誘致に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	地元農産物の消費拡大として、飲食店と協賛し食べ歩きフェアや米米コンテスト等の取り組みを行った。また、新産業集積エリア整備事業関係では、地域住民の一定の理解を得ることが出来、用地取得に向けた事業同意取得を進めている。
	自己評価	相手がある事業であり、地道な積み重ねの結果一定の結果がみられる。
	下半期への対応	地元農産物の消費拡大に向けた取組を今後も継続していきたい。また、新産業集積エリア整備事業は、年度内の事業同意取得と工事発注を目指して取組を進めたい。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期

- ・地産地消の取り組みについての実績を把握し、引き続き関係機関と連携を図りながら推進すること。
- ・新産業集積エリア整備事業の着実な推進を図ること。

下半期

環境経済部長の仕事宣言！ 進行管理表

環境経済部長 立石 利治

[リープロ名称] 環境を守り、未来へつなぐプロジェクト
 [目標値] 市民1人1日当たりの資源物以外のごみの排出量 800g/人・日、
 (リープロの概要) 市民、事業者、行政が一体となり、ゴミの減量化・再利用・資源化に取り組めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	環境問題の出前講座開催や河川清掃活動・水生生物調査など環境に関係する取組を行うことが出来、多くの市民に対してごみの排出量抑制についてもPRを行った。
	自己評価	様々な事業により市民に対して環境関係の啓発が図られた。
	下半期への対応	下半期に取組む事業も控えていることから、これらを積極的に取組むことで、ごみの排出量を減少させたい。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期
 ごみ排出量減少に向けて啓発の工夫などの対策を講じること。

下半期